

ベトナム訪問の神商議会議長

「神戸と経済交流活発に」

神戸商工会議所の川崎博也会長（神戸製鋼所特任顧問）が今夏、ベトナムを訪れ、同国最大の経済団体「ベトナム商工連盟」のグエン・カン・ビン副会長と、首都ハノイで会談した。商議所のトップが単独で、海外



ベトナム商工連盟のグエン・カン・ビン副会長（左）に記念品を手渡す神戸商工会議所の川崎博也会長（右）
（ベトナム・ハノイ（神商議提供））

の経済団体を訪問するのは珍しい。神戸空港の国際化を視野に、ベトナムへの投資セミナーを神戸で開くなど、経済交流の活性化を図ることで一致した。

川崎氏は会談で、神戸の産業集積や医療産業都市の取り組みなどを説明し、2025年の大阪・関西万博に合わせて神戸にも来訪するよう呼びかけた。

川崎氏によると、グエン副会長は「投資セミナーを軸に、ビジネス交流を深め

たい」と表明。今後実現に向け、事務レベルで情報交換を続けるという。

ハノイでは当初、フアム・タン・コン会頭を訪問予定だった。ただ、ベトナムの最高指導者、グエン・フー・チョン書記長が死去し、国葬が面会予定日の翌日に決まったため、副会頭が応じることになった。川崎氏は「大変な時期でもキヤンセルせず、副会頭に対応してもらえたのはありがたかった」と振り返った。

最大都市・ホーチミンの同連盟支部も訪問。ベトナムは天然ゴムの生産国で、神戸のゴム産業への関心が高かったという。

川崎氏は「副会頭には神

戸の現状をよく理解してもらえた。日本酒や観光など、神戸を売り込める余地は大きい」と話した。

30年前後とされる神戸空港の国際化を前に、川崎氏は定期便が就航するかどうかにかかわらず、アジアの主要都市とのビジネス交流を拡大する方針を示す。今月9日からは高田厚副会長（神戸土地建物社長）とともに、シンガポールを訪問している。（高見雄樹）